

| 科目名 Course Name | | 開講年次 | 開講学期 | 曜日・時限 |
|---|--|----------------------------|--------|--------------|
| 異文化間コミュニケーション I Intercultural Communication I | | 2年 | 前期 | 別途、時間割参照 |
| 単位数 | 授業の形態 | 授業の性格 | | 履修上の制限 |
| 2単位 | 講義 | 選択 | (特になし) | 特になし |
| 当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目 | | | | |
| 特になし | | | | |
| 同時に履修しておくことが望まれる科目 | | | | |
| 特になし | | | | |
| 担当者に関する情報 | | | | |
| 氏名 | 研究室の場所 | オフィスアワー | | 電話番号・メールアドレス |
| 堤 裕美子 | 講義棟3階 | 火曜日・木曜日9:00~18:00(授業時間を除く) | | 授業中に指示します |
| 授業の概要 | | | | |
| 英語コミュニケーションを理解する上で大切なことは、その国に住んでいる人々の生活、社会事情、歴史、あるいは文化を互いに理解し合うことで、そのことで異文化への理解は深まる。その上での相手国の人々との間のコミュニケーションに意思伝達内容を豊かなものにする。この授業では異文化における人間の心の奥底に流れる思い、考え、特に心の接点と言葉の内容について考える。 | | | | |
| 授業の目標 | | | | |
| ①英語圏、特にアメリカについての生活、社会事情等について知識のある意見を述べるができるようにする。 ②自分の思い・考えを相手に伝えることができるようにする。 ③言葉の内容を深く理解することができるようにする。 | | | | |
| 授業の方法 | | | | |
| 授業の進め方は、講義と演習の形式を併用して行う。毎回の授業はテキストを中心に進めていくが、時には、プリントを配布し講義を行う。また、必要な場合DVDを鑑賞しテーマについて確認する。受講生の人数にもよるが何人かの幾つかのグループを作り、テーマに沿ってディスカッションし、自分で整理したものを英語でクラス全体の前で発表する。 | | | | |
| 学習の成果(学習成果) | | | | |
| ①相手国、特にアメリカに住んでいる人々の生活、文化的価値観等を理解することができる。 ②英語によるコミュニケーションがスムーズにできる。 ③英語によるプレゼンテーションをすることができる。 ④話し相手の立場になって考えることができる。 | | | | |
| 授業のスケジュールと内容 | | | | |
| 第1回目 | ガイダンス・概要説明 レポートのテーマ及び提出期限等の説明 | | | |
| 第2回目 | Culture 1. What is Culture? 2. Who is More Japanese?--Cultural Identity | | | |
| 第3回目 | 3. Culture Wisdom--Hidden Culture Stereotypes 4. Description/Interpretation/Evaluation | | | |
| 第4回目 | 5. Stereotypes about Japan 6. Stereotypes about People from Other Countries | | | |
| 第5回目 | Verbal Communication 7. Words and Meaning 8. Translation Troubles | | | |
| 第6回目 | Nonverbal Communication 9. Hand Gestures in Various Cultures 10. Personal Space | | | |

| | |
|-------|---|
| 第7回目 | Diversity 11. Multiculturalism in Japan 12. Multicultural Contact Chart |
| 第8回目 | Perception 13. What Do You See? Try it 1, Try it 2 Discussion Expand |
| 第9回目 | 14. Smiles in Culture Warm-up Try it 1, Try it 2 Discussion Expand |
| 第10回目 | Communication Styles 15. Your Communication Style Warm-up Try it 1, Try it 2 |
| 第11回目 | 16. Secret! 1. Whom do you feel comfortable talking to? 2. What subject do you consider private? |
| 第12回目 | Beliefs & Values 1 What's Important to you? 1. What personal values do you share with your friends? |
| 第13回目 | Culture Shock 19. Advice to People from Other Cultures レポート (提出は15回目の授業日) |
| 第14回目 | 20. Experiencing Culture Shock |
| 第15回目 | 総まとめ |
| | |

成績評価の方法と基準

| 評価の領域 | 割合 | 評価の基準 |
|-------------|-----|---|
| 授業参加態度 | 30% | 予習をして出席している。ディスカッションで積極的に意見を述べる。自分の考えをノートにまとめ理解しやすいように発表する。 |
| レポート | 30% | 課題をよく理解し、詳細に探求し、課題の要件を十分に満たしている。 |
| 調査報告書 | | |
| 小テスト | 20% | 課題をよく理解し、正確に解答している。 |
| 試験 | | |
| 発表内容 (態度含む) | 20% | 創意にあふれ、独自の考えを明瞭に述べている。 |
| その他 | | |

教科書と参考図書

"Culture in Action" Classroom Activities for Culture Awareness カルチャーインアクション—教室での異文化体験—(南雲堂)

履修上の留意点・ルール

目的意識を持って、授業に積極的に参加すること。電子辞書を必ず持参すること。遅刻、飲食物持ち込み厳禁。